

関東教育学会

The Kanto Educational Research Society

第 64 回大会プログラム

2016 年 11 月 26 日 (土)

関東教育学会第 64 回大会準備委員会

鎌倉女子大学

□参加要項

1. 会 期 2016年11月26日(土)
2. 受 付 午前9時30分開始
(鎌倉女子大学大船キャンパス 教室棟2階受付にて)
3. 発表要項 研究発表：個人／20分、質疑5分
複数／40分、質疑10分
(発表に対する全体討論は、発表終了後に行います。)
4. 参加費 会員3,000円、大学院生1,500円、臨時会員3,000円
※非会員の公開シンポジウムのみ参加は無料
5. 懇親会費 会員5,000円、大学院生3,000円、臨時会員5,000円
6. 昼 食 学生食堂は利用できません。
大学周辺のマップを参考に昼食をお取りください。

□会場

大会会場 鎌倉女子大学大船キャンパス 教室棟2階
事務局 〒247-8512 神奈川県鎌倉市大船6丁目1番3号
鎌倉女子大学教育学部教育学科 鈴木樹 研究室
電子メール： kanto64kamakura@gmail.com
電 話： 0467(33)8609 (鈴木樹研究室)

□鎌倉女子大学大船キャンパスへのアクセス

JR(東海道本線、横須賀線、京浜東北・根岸線)、湘南モノレール
「大船駅」笠間口、または東口南改札より徒歩12分

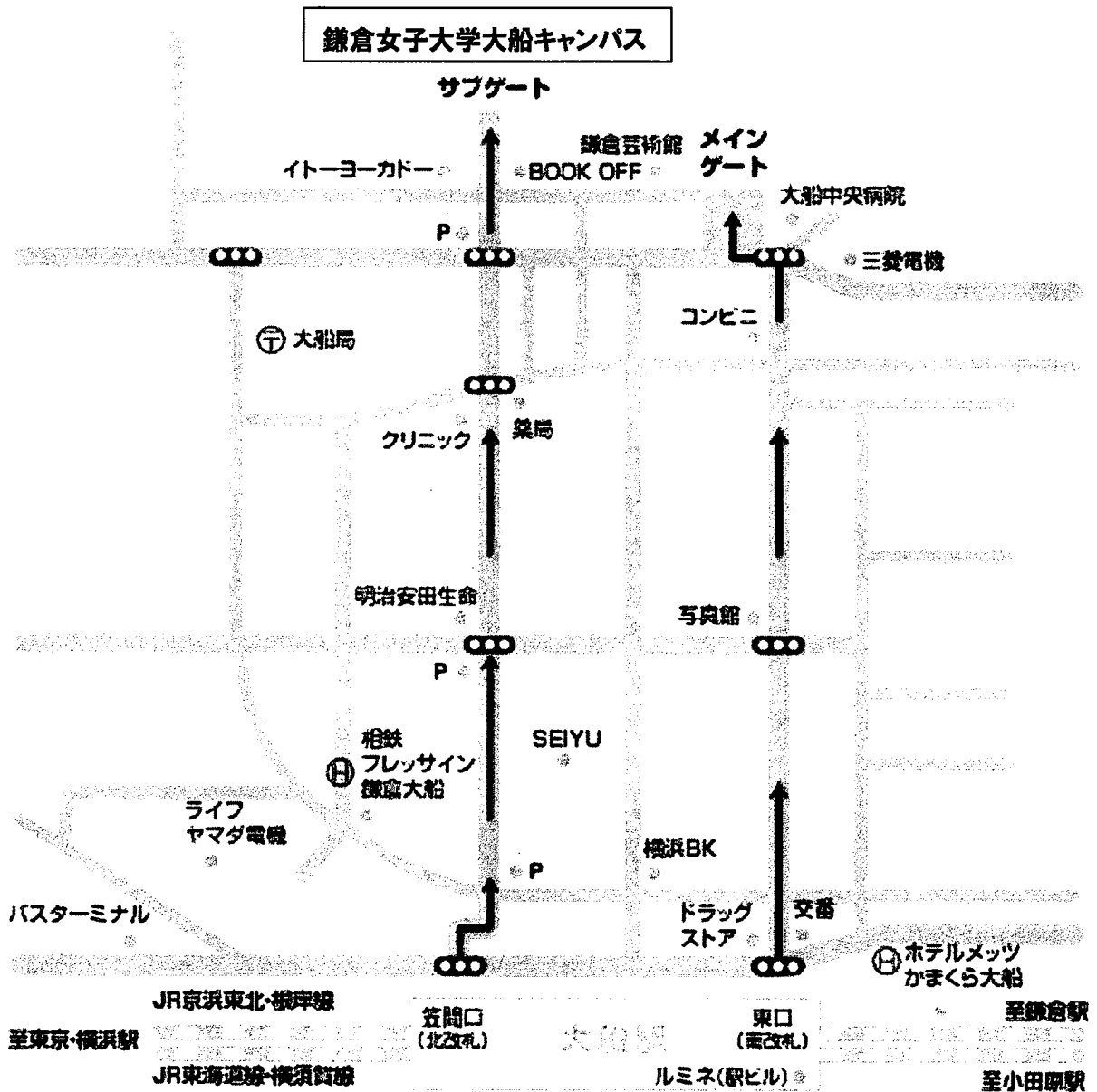
※湘南新宿ライン、上野東京ライン、総武線・横須賀線で、大船駅までの直通運転があります。

※鎌倉女子大学岩瀬キャンパスではありませんので、ご注意ください。

※大船駅から「鎌倉女子大学前」を経由するバスが出ていますが、これは岩瀬キャンパスに行くバスです。大船キャンパスには行きませんので、お乗りにならないようにご注意ください。

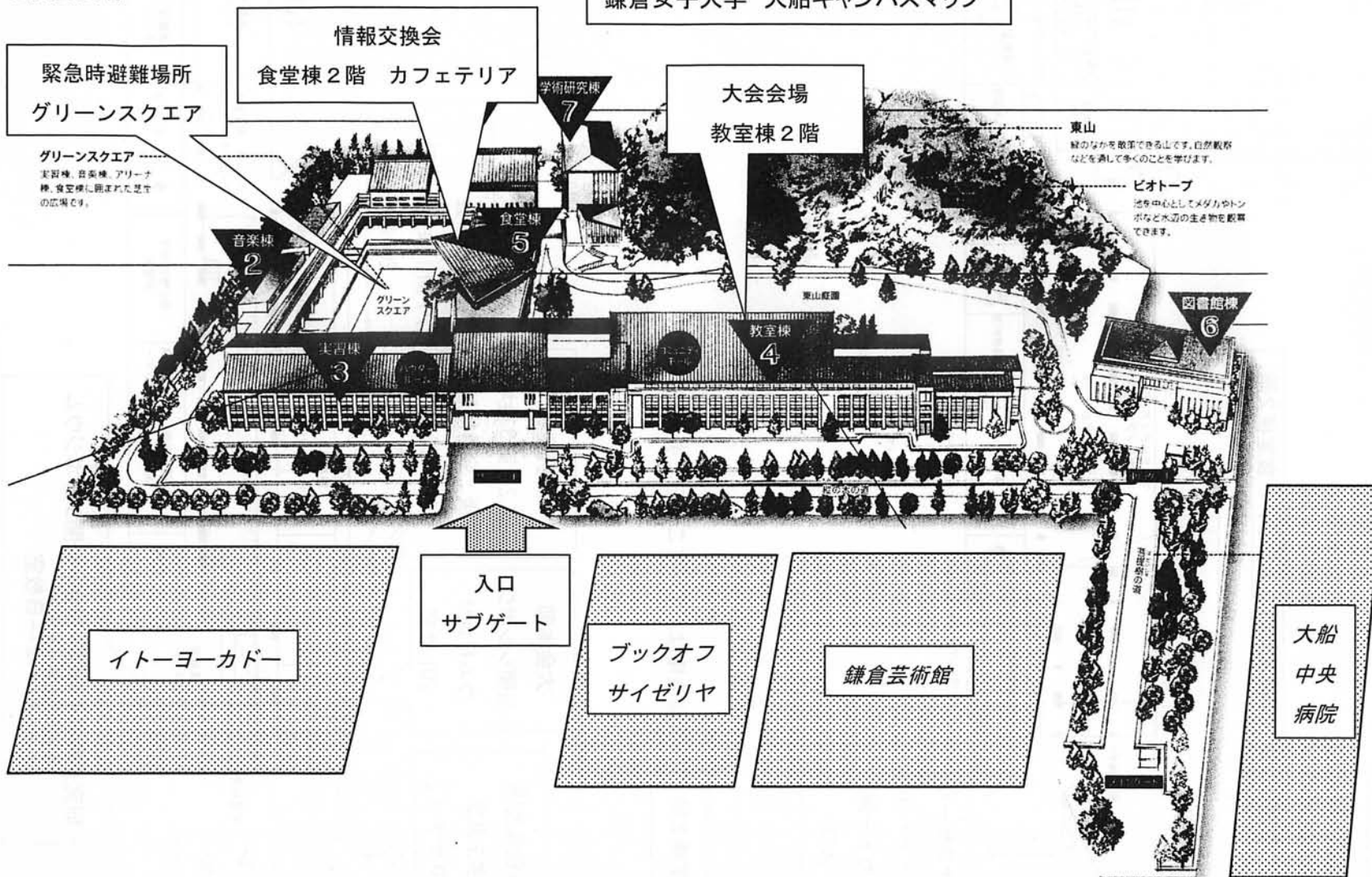
口経路案内

※大船駅笠間口を出て、鎌倉女子大学大船キャンパス「サブゲート」からお入りください。
 (大会当日、メインゲートは閉門しておりますので、ご注意ください。)



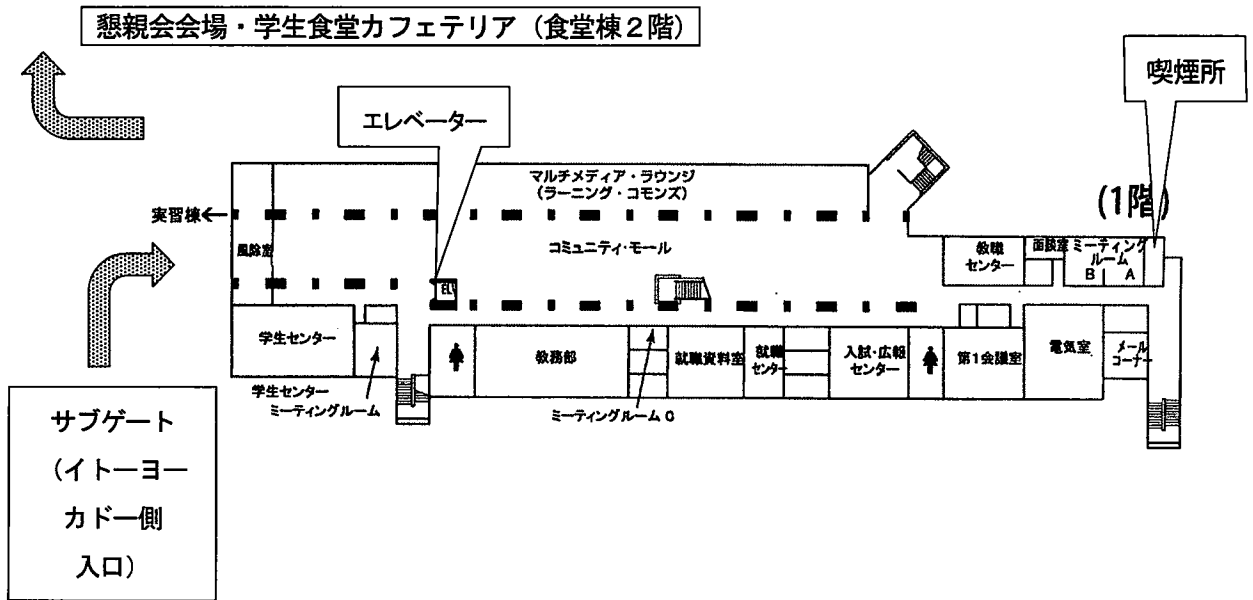
大会会場

鎌倉女子大学 大船キャンパスマップ



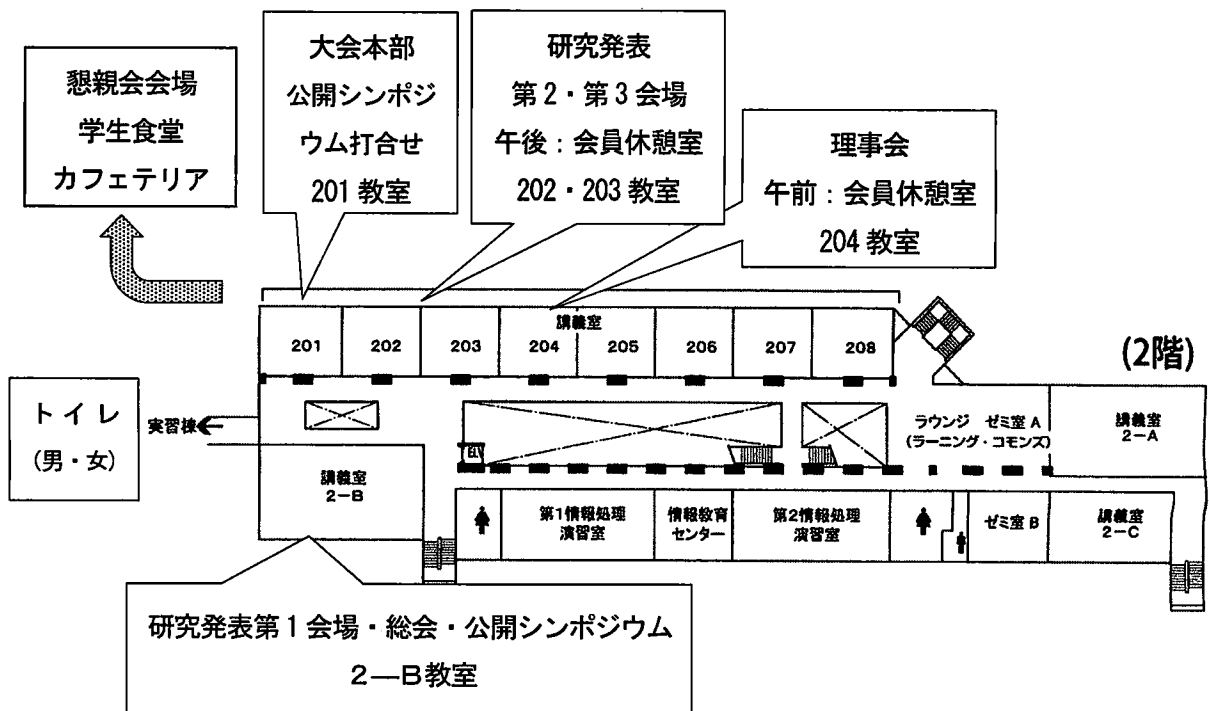
□会場平面図

教室棟 1階



教室棟 2階

*大会会場は、すべてこちらです。



□大会日程

9:30	10:00-12:00	12:00-13:30	13:30-14:20	14:30-17:00	17:30-19:30
受付	研究発表	昼休み	総会	公開シンポジウム	懇親会
教室棟 2階	教室棟 2階	教室棟 2階	教室棟 2階	教室棟 2階	食堂棟 2階
受付	発表会場 ①2-B 教室 ②202 教室 ③203 教室 *会場により 開始時刻が 異なります のでご注意 ください。	理事会 12:10-13:10 204 教室 公開シンポジウム打合せ 12:10-13:10 201 教室	総会 2 - B 教室	公開シンポジウム 2 - B 教室	懇親会 カフェテリア
会員休憩室 204 教室		会員休憩室 202 教室・203 教室			
大会本部 201 教室					

第1会場

教室棟2階 2—B教室

司会： 石井久雄（明治学院大学）・緩利真奈美（東京農業大学）

- (1)10:00 教師の実践を方向づける「観」についての研究
～「子ども主体」の授業を志向する小学校教諭を対象にした
エスノグラフィーを通して～
坪内 珠輝（早稲田大学大学院）
- (2)10:25 ある母親の連絡帳から見える子育て
藤枝 充子（松本大学）
- (3)10:50 幼年童話からみる幼年期の道德性について
—接続期としての幼年期と道德性—
米川 泉子（目白大学）
- (4)11:15 シュタイナーの人間観・世界観と道德教育
下田 好行（東洋大学）

11:40-12:00 全体討論

第2会場

教室棟2階 202教室

司会： 藤井佳世（横浜国立大学）・神門しのぶ（上智大学非常勤講師）

- (1)10:25 昭和初期における「新教育」思想と「日本主義」との接合
—茨城県師範附小訓導今宮千勝に焦点をあてて—
国谷 直己（東洋大学大学院・院生）
- (2)10:50 「師範型」批判の再検討
—権力への従順さという批判を中心に—
長谷川 鷹士（早稲田大学大学院・院）
- (3)11:15 大学「昇格」前後のキリスト教系私学に関する考察
- 教育目的・学部組織の変容に着目して -
雨宮 和輝（早稲田大学）

11:40-12:00 全体討論

第3会場

教室棟2階203教室

司会： 林尚示（東京学芸大学）・牛田伸一（創価大学）

(1)10:25 全国学力調査の上位県、下位県の考察

蓑輪欣房（東京福祉大学短期大学部）

(2)10:50 大学間連携共同教育推進事業としての大地連携ワークショップに関する研究
～山形県と北海道の事例を通して～

齋藤 義雄（東京家政学院大学）

(3)11:15 道德教育におけるベクトルの問題

- SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動)に集う若い世代の言動を
手がかりに-

渡辺雅之(大東文化大学 文学部教育学科)

11:40-12:00 全体討論

公開シンポジウム

今後の教育改革と教師の資質能力について考える

—アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントの目指すもの—

会場： 教室棟 2階 2 - B 教室

時間： 14 時 30 分～17 時

【公開シンポジウム企画の趣旨】

2015 年 8 月 26 日に、中央教育審議会教育課程企画特別部会から『教育課程企画特別部会における論点整理について（報告）』（以下、「論点整理」）が公表された。この「論点整理」は、「2030 年の社会と、そして更にその先の豊かな未来を築くために、教育課程を通じて初等中等教育が果たすべき役割を示すことを意図している」ものである。この中で、「子供たちに、必要な資質・能力を育むためには、学校が、社会や世界と接点を持ちつつ、多様な人々とつながりを保ちながら学ぶことができる開かれた環境となることが不可欠であり、これからの教育課程には、教育が普遍的に目指す根幹を堅持しつつ、社会の変化に目を向け、柔軟に受け止めていく『社会に開かれた教育課程』としての役割が期待されている。この理念を実現していくためには、各学校において、『アクティブ・ラーニング』の視点を踏まえた指導方法の不断の見直し等による授業改善と『カリキュラム・マネジメント』を通じた組織運営の改善に一体的に取り組むことが重要である」ことが指摘され、「社会に開かれた教育課程」を実現するための方策として、「アクティブ・ラーニング」と「カリキュラム・マネジメント」が提案されている（引用は、中教審 186 号、p.3 による）。

これを踏まえて、2015 年 12 月 21 日に 3 つの中央教育審議会答申が公表された。そのなかで、本シンポジウムのテーマに関係の深いものは、『「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～（答申）』（中教審第 184 号）および『チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）』（中教審第 185 号）である。これらは、今後の日本の教育を方向づけ、それに求められる教員の資質能力の向上を図る方針を示したものである。中教審 184 号では、教員養成・採用・研修を通じた方策が、中教審 185 号では「チーム学校」が提案されている。さらに、2016 年 8 月 28 日には、中央教育審議会・初等中等教育分科会・教育課程部会から『次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめについて（報告）』が公表された。これらは平成 28 年度中に告示が見込まれている新学習指導要領にもつながるものである。

アクティブ・ラーニングについては、「物事の深い理解や熟達」（「論点整理」、p.17）を目指したものであり、学習・指導方法について「特定の型を普及させるのではなく、（中略）学び全体を改善し、子供の学びへの積極的関与と深い理解を促すような指導や学習環境を設定することにより、子供たちがこうした学びを経験しながら、自信を育み必要な資質・能力を身に付けていくことができるようにすることであり、「他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程が実現できているかどうか」（p.18）という、特定の方法（型）を超えた考え方が示されている。一方、カリキュラム・マネジメントは、「学校の組織力を高める観点から、学校の組織及び運営について見直しを迫るものであり、「管理職のみならず、全ての教職員が責任を持ち、そのために必要な力を、（中略）教員一人一人が身に付けられるようにしていくことが必要である」とされている（p.23）。

アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントは、「授業改善や組織運営の改善など、学校の全体的な改善を行うための鍵となる二つの重要な概念として位置付けられるものであり、相互の連動を図り、機能させることが大切であり、両者を一体として考える視点が望まれる。（「論点整理」 p.23）。

これらの教育改革の全体像を俯瞰すると、冒頭に述べたとおり、これらの教育改革は「社会や世界」の中でとらえる必要のあることが分かる。このように大きな視点から「アクティブ・ラーニング」と「カリキュラム・マネジメント」について「相互の連動」を考えながら捉え、中教審答申 184 号に示された教員養成改革と対比させながら、今後の教員に必要とされる資質・能力について考えたい。

これらの議論を深めるために、以下の3名のシンポジストに提案をお願いした。

提案1 教育行政およびアクティブ・ラーニングの視点から

高口 努（教員研修センター理事、元・文部科学省）

提案2 小学校校長およびカリキュラム・マネジメントの視点から

松永 立志（前・鎌倉女子大学）

提案3 大学教員および教員養成の視点から

森山 賢一（玉川大学）

司 会 鈴木 樹（鎌倉女子大学）

望月 重信（明治学院大学名誉教授）

今日から始める アクティブラーニング

■小林昭文・成田秀夫 著
河合塾 編
定価(本体1,800円+税)
A5判・168頁
ISBN978-4-7619-2149-1

高校授業における導入・実践・協働の手引き

★高校でのアクティブラーニング型授業の設計の仕方についての事例を紹介し、教員が直面しそうな問題をクリアするためのヒントや、生徒を指導するときに気をつけることなどを解説。授業改善のためには、教員間の連携や組織開発が必要であることも示した。

- 第1章 アクティブラーニングとは アクティブラーニングとは/アクティブラーニングが求められる社会的背景 ほか
第2章 アクティブラーニング型授業づくり 習得・活用・探究とアクティブラーニング型授業/習得型モデルの紹介/活用モデルの紹介/探究モデルの紹介
第3章 アクティブラーニング型授業の導入と実践のポイント アクティブラーニング型授業導入のポイント/アクティブラーニング型授業における留意点/評価のポイント/その他の重要ポイント
第4章 アクティブラーニングを支える組織開発 授業改善と学校内の組織開発は一緒にやれようまくいく/事例紹介/コアチームづくり 授業研究委員会の活動
第5章 アクティブラーニング型授業の課題「逆向き設計」へ/アクティブラーニングの評価に向けて ほか

学事出版 千代田区外神田2-2-3 TEL03-3253-4626 FAX0120-655-514 <http://www.gakuji.co.jp>

【新編】よくわかる教育の基礎 (第2版)

定価2268円 湯川次義 編著

教育・学習の意味や本質を探究し、学校教育の諸原理・方法、諸制度の意味を中心に、教育についての基本的な考えを養う。

批判的思考指導の理論と実践

アメリカにおける思考技能指導の方法と日本の総合学習への適用

定価7020円 樋口直宏 著

教育方法学の立場からアメリカにおける批判的思考指導論について、その特徴を解明する。

早稲田教育叢書 34

基礎から学ぶ比較教育学

定価2484円 長島啓記 編著

日本を含めた各国の教育について取り上げ、地域の教育とを比較検討し、教育のあり方を探っていく。

教師の声を聴く

教職のジェンダー研究からフェミニズム教育学へ

定価3456円

教師であり女性であるということはどういうことか。教職生活の日常に潜むジェンダーの現実を探究したフェミニズム教育学。

浅井幸子・黒田友紀
杉山二季・玉城久美子
柴田万里子・望月一枝
編著

教育課程編成論

定価2160円

森山賢一 編著

学校が学びの場として根本的な転換を迫られる現在を考慮し、教育課程の概念、歴史的展開、評価理論等を解説。

教師教育テキストシリーズ ①

道徳教育 (改訂版)

定価2052円

井ノ口淳三 編著

「道徳教育」科目に関する基本的な概念を歴史的背景をふまえて理解し、知識と技術を身につけることをめざす改訂版。

教師のための教育学シリーズ

教師のための教育学シリーズ編集委員会 監修

優れた専門性と実践的指導力を備えた教師を育成するため、教育課程の概説のみならず、教育学の理論や知見を提供。

① 教職総論

教師のための教育理論

平野朝久 編 定価2160円

⑥ 教育課程論

山田雅彦 編著 近刊

⑨ 特別活動 理論と方法

林 尚示 編著 定価2916円

⑩ 生徒指導・進路指導

理論と方法

林尚示・伊藤秀樹 編著 定価2376円

⑪ 子どもと教育と社会

腰越滋 編著 定価2268円

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
<http://www.gakubunsha.com>

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
E-mail: eigyog@gakubunsha.com

平成27年『一部改正学習指導要領』に基づく最新版

道徳教育の理論と方法

羽田積男・関川悦雄編

本書は、大学における教職課程で学ぼうとする学生を主たる対象として編まれている。平成27年、『一部改正学習指導要領 特別の教科 道徳』に対応して構成されており、道徳教育の理論と方法に関する内容が盛り込まれている。

2000円



現代教職論

羽田積男・関川悦雄編 本書は、大学における教職課程で「教職の意義等に関する科目」を学ぼうとする学生を主たる対象として編まれている。 2100円

教育政策・行政

安藤 忠・壽福隆人編 近代日本教育史の中に教育政策や行政の問題を位置づけ、日本の教育政策が歩んできた道を問い直しながら未来を指向する。 2200円

教職課程のための憲法入門

西原博史・齋藤一久編著 学校で起きる事例をもとに、多くのイラストを使って、日常の言葉で憲法を説明。教育に関わる憲法のポイントがわかる1冊。2200円

教養としての憲法入門

神野 深編著 憲法の歴史的背景から憲法改正などの今のトピックスまでを網羅。用語集やブックガイドも入った、憲法を通じて社会全体を考える1冊。2500円

社会で活躍するためのロジカル・ライティング

西谷尚徳著 穴埋め、書き換え、記述など、さまざまな実践トレーニングを積み、魅力的で知性あふれる文章力を養成。ライバルに差をつけよう！ 1900円

国際協力アクティブラーニング

佐原隆幸・徳永達己著 現場に必要なコミュニケーション力と実践力が身につく！「国際協力の仕事」が体感できる、今までなかったワーク集！ 1800円

教育ファシリテーターになるう！

石川一喜・小貫 仁編 形だけのグループ学習、伝達型の授業は過去のもの。明日からできる創発型授業のための技術とマインドを提供！ 2500円

弘文堂

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7 ©表示価格は税抜
Tel. 03-3294-4801 / Fax. 03-3294-7034 http://www.koubundou.co.jp/

最新刊

教育学の試み

宇都宮大学名誉教授

中村 清

NAKAMURA, Kiyoshi

多様な文化に開かれた人間形成をめざして

中村 清
教育学の試み
多様な文化に開かれた人間形成をめざして

世界を震撼させるテロ、その背景にある貧困・格差の問題、そして宗教や民族、政治など、グローバル社会における深刻な異文化対立！

いま私たちに必要なのは、文化の違いをこえて平和に共存する人間を形成する教育ではないか。本書は、この教育の可能性を探究する試みである。

■ 主な内容

第I部 教育とは何か
第一章 教育の概念
第二章 発達段階と教育
第三章 社会化と教育
第四章 教育の諸相
第五章 道徳教育

第II部 これからの公教育
第六章 学校教育
第七章 教育と政治
第八章 多文化国家の公教育

■ 四六判・並製・232頁

■ 定価：本体 ¥ 1,600+税 ■ ISBN: 978-4-7887-1458-8

時事通信出版局 営業企画部

〒104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル4F

TEL: 03-5565-2155 FAX: 03-5565-2168

思春期青年の協同性プログラムに関する開発的研究

～教科外教育における指導の在り方に着目して～ 木内隆生著 A5判 416頁 定価(本体 5186円+税)

●新しい学習指導要領へ対応 ●文部科学省(日本学術振興会)の推奨書籍

本書はアクティブ・ラーニング(学習者の主導的な学び)の源流である教科外教育領域(道徳、総合的な学習の時間、特別活動など)に活用できるCGW(課題解決的なグループワーク)の基盤理論と実践(プログラム内容と授業方法)を明確化・具体化した。

●都立高校学校設定科目「人間と社会」への汎用

本書は高校段階の道徳教育やボランティア学習など現代的課題をテーマに取り上げ、調査や紙上討論、共同作業を通して教科横断的学習や体験型の協同学習を行う。平成28年度から都立高校で実施する学校設定科目「人間と社会」へ応用することが可能である。



教職課程テキスト

特別活動 15 講

梅澤秀監・木内隆生・嶋崎政男編著
B5判 144頁・定価(本体 2100円+税)

特別活動の指導法について、わかりやすく、しかも実際に指導する際に必要な知識や技術について、理論と実践を融合させた説明をしている。各講ごとに「課題演習」をおいて、まとめと試験対策とし、巻末には「ワークシート」が付され、切り取って提出することもできる。



生徒指導 15 講

梅澤秀監・木内隆生・嶋崎政男編著
B5判 160頁・定価(本体 2100円+税)

教職課程で使用できるテキスト。生徒指導の根底には児童生徒理解がある。心理学の専門家を含めた執筆陣による生徒指導の知識や技法について理論と実践を融合させている。各講ごとに「研究課題」「ワークシート」を付し試験対策にも万全を期す。



大学図書出版 〒102-0075 東京都千代田区三番町 14-3 TEL03-6261-1221 Fax03-6261-1230 <http://daigakutosho-gr.co.jp>

教科と総合学習の カリキュラム設計

パフォーマンス評価をどう活かすか



西岡加名恵 (京都大学准教授)

A5判/296ページ 本体 3,000円+税

“資質・能力”育成のためのカリキュラムづくり・授業づくり・学習評価のあり方を提案

教科学習や総合学習を通じて、これからの時代を生き抜くための資質・能力を子どもたちに育むにはどうすればよいのか。「逆向き設計」論にもとづき、教育目標の設定から、評価規準(基準)の明確化、カリキュラムづくり、学習評価の具体的な方法までを詳しく解説。研究的見解が豊富な実践例で裏付けられた、実践に活きる1冊。

主な目次

- 序章 なぜ今、カリキュラム設計なのか
- 第1章 教育目標の設定
- 第2章 評価方法と評価規準(基準)の開発
- 第3章 指導過程の改善
- 第4章 マクロな設計
- 第5章 ポートフォリオ評価法の多様な展開
- 第6章 学校のカリキュラム・マネジメント

〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-15
<http://www.toshobunka.co.jp/>

図書文化

TEL 03-3943-2511 FAX 03-3943-2519
ブックライナーで注文可 ☎0120-39-8899

関東教育学会第 64 回大会 プログラム
(2016 年 11 月 26 日)

編集・発行 関東教育学会第 64 回大会準備委員会

顧問 望月重信

委員長 鈴木 樹

委員 中島朋紀

梨本加菜

平井悠介

会場 鎌倉女子大学大船キャンパス